



平成22年11月22日

投資信託商品、新規取扱ファンドのお知らせ

筑波銀行（頭取：木村 興三、本店：茨城県土浦市）は、11月22日（月）より、土浦公設市場出張所を除く全店で、下記の「野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）」（愛称：グローバルアシスト）の販売取扱いを開始いたしますので、お知らせいたします。

記

ファンド名／分類	「野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）」（愛称：グローバルアシスト） 追加型投信/海外/債券
ファンドの特色	<ol style="list-style-type: none">1. 国際機関が発行する信用力の高い債券を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得をめざす。2. 新興国の通貨の中から相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、国際機関債等への投資及び為替予約取引等の活用を通じて、選定した通貨によるポートフォリオを構築し当該通貨への投資効果を追及する。3. 「ノムラ・カレンシー・ファンドースーパーナショナル・ボンドークラス A」及び「野村マネー マザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用する。4. 毎月の毎決算時（原則として15日）に、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行う。
ファンドの 主なリスク	<ol style="list-style-type: none">1. 金利変動リスク ファンドは投資信託証券への投資を通じて実質的に債券に投資するので、金利の変動により、ファンドの基準価額は変動する。2. 為替変動リスク ファンドの投資対象である外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンドースーパーナショナル・ボンドークラス A」は外貨建資産について、原則として対円ヘッジを行わないため、為替変動の影響を大きく受ける。特に、ファンドは新興国通貨建ての債券に実質的に投資するので、新興国の通貨の為替変動の影響を大きく受ける。3. 信用リスク 有価証券等への投資にあたっては、発行体における利払いや償還金の支払いが遅延したり、支払いが滞るリスクが生じる場合がある。

信託期間／設定日	平成 32 年 5 月 15 日まで（平成 22 年 5 月 27 日設定）
決算日	毎月 15 日（休業日の場合は翌営業日）
購入単位	1 万円以上 1 円単位
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入手数料	申込金額に対し、2.625%（税抜 2.5%）
申込不可日	購入・換金申込日当日が、以下のいずれかの休業日と同日の場合、または 12 月 24 日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行
信託報酬	純資産総額に対し、年 0.924%（税抜年 0.88%） ※上記信託報酬にファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた実質的な信託報酬率は、年 1.274%（税込）
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
信託財産留保額	なし
換金代金の受取り	原則として、換金申込日から起算して 6 営業日目から
委託会社	野村アセットマネジメント
受託会社	野村信託銀行

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
 筑波銀行総合企画部調査広報室 鈴木(内線 3730)
 TEL 029-859-8111